CG-SWO8GT

8 Port 1000M/100M/10M Gigabit Ethernet Switch

取扱説明書

この度は、corega CG-SWO8GTをお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。この取扱説明書をお読みになり、正しい設置を行ってください。また、お読みになった後も、大切に保管してください。

製品概要

本製品は、1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-Tの自動認識及びMDI/MDI-Xの自動設定ポートを8ポート装備したギガビットイーサネット・スイッチです。接続先ポートの種別やケーブルタイプ、通信速度にかかわらず簡単にネットワークを構築することができます。
各ポート間の通信はプリッジ機能で行うため、1000Mbps、100Mbps、10Mbpsだけで構成されたネットワークだけでなく、通信速度が混在したネットワーク環境でもご使用になれます。

- オートネゴシエーション機能をサポート
- フローコントロール（Half duplex時：バックプレッシャー機能、Full duplex時：IEEE802.3x）をサポート

Full duplex時のフローコントロールは、接続先の機器もフローコントロール（IEEE802.3x）をサポートしている場合に機能します。

- 電源内蔵型
- 1000Mbps/100Mbps/10Mbps、Full duplex/Half duplex自動認識、自動切り換え
- MDI/MDI-X自動設定
- ネットワークや機器の状態が一目でわかるLEDを装備

同梱品一覧

最初に下記の付属品が入っていることを確認してください。万一、欠品、不良などございましたら、お買い求めいただいた販売店までご連絡ください。

- corega CG-SWO8GT本体
- 電源ケーブル(AC100V用)
- ゴム足(粘着タイプ・4個)
- 19インチラックマウントキット(ブラケット・2個/ブラケット取り付け用ネジ・8個)
- 取扱説明書(本書)
- 製品保証書

再梱包

本製品を移送する場合、工場出荷時と同じ梱包箱で再梱包されることが望まれます。再梱包のために、本製品が納められていた梱包箱、緩衝材などは捨てずに保管しておいてください。

各部の名称と機能

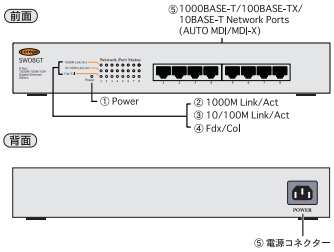


図1　外観図

① **Power（緑）**
本体に電源が供給されているとき点灯します。

② **1000M Link/Act（緑）**
1000Mbpsでリンクが確立しているときに点灯します。通信中は点滅します。1000Mbpsの切り替えは、オートネゴシエーション機能によって、本製品が自動的に行います。ユーザーが設定する必要はありません。

③ **10/100M Link/Act（緑/橙）**
100Mbpsでリンクが確立しているときに緑で点灯します。通信中は点滅します。10Mbpsでリンクが確立しているときに橙で点灯します。通信中は点滅します。100Mbps/10Mbpsの切り換えは、オートネゴシエーション機能によって、本製品が自動的に行います。ユーザーが設定する必要はありません。

④ **Fdx/Col（橙）**
ポートがFull duplexで動作しているときに点灯します。消灯している場合は、Half duplexで動作していることを示し、コリジョンが発生しているときに点滅します。

⑤ **1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T Network Ports（AUTO MDI/MDI-X）**
1000BASE-TやTX、または10BASE-TのLANケーブルを接続するためのコネクターです。
自動設定機能によって接続先ポートの種別、通信速度（1000Mbps/100Mbps/10Mbps）、ケーブルタイプ（クロス/ストレート）に関係なく、自動的に最適な状態で接続します。

⑥ **電源コネクター**
電源ケーブルを接続するためのコネクターです。

設置するまえに

□ **設置場所**
本書裏面の「安全のために」をよくお読みになり、正しい場所に設置してください。

□ **電源**
本製品は日本国内で使用してください。この場合、同梱の電源ケーブルを用い、AC100Vの電源に接続してご使用ください。
また、指定された電源電圧以外で、使用しないでください。
不適切な電源ケーブルや電源コンセントを使用すると、発熱による発火や感電の恐れがあります。

□ **デスクの上などに設置する場合**
本製品をデスクの上などに設置する場合は、本体底面の四隅にある○マークの位置に必ず付属のゴム足を取り付けてください。本体を固定し、衝撃を吸収するクッションの役目をします。また、貼り直しは、粘着力を弱めますのでご注意ください。

19インチラックに取り付ける場合には、隣接するハブなどと干渉する可能性がありますのでゴム足は取り付けないようにしてください。

□ **19インチラックに取り付ける場合**
付属のラックマウントキットを使用すると本製品をEIA規格の19インチラックに取り付けることができます。

① 電源ケーブルや各ポートに接続されているLANケーブルを外します。
② ゴム足が取り付けられている場合は、ゴム足を外します。
③ 本体側面にブラケットを合わせ、ブラケット取り付け用ネジ(小8個)で、両側ともしっかりと固定します。

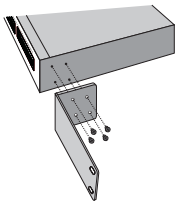


図2　ブラケットの取り付け

④ 19インチラックの適当な高さに本製品を合わせ、市販のラックマウント用ネジで、しっかりと固定します。

ラックマウント用ネジは付属しておりません。

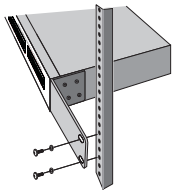


図3　19インチラックへの取り付け

起動と停止

電源ケーブルのソケット側を本体背面の電源コネクターに接続し、プラグ側を電源コンセントに差し込むと起動します。電源ケーブルのプラグ側を電源コンセントから抜くと停止します。

本製品には電源スイッチがありません。電源ケーブルを電源コンセントに接続した時点で、電源が入りますのでご注意ください。

電源ケーブルのプラグ側を電源コンセントに差し込んだままソケット側を抜かないでください。感電事故を引き起こすおそれがあります。

接続のしかた

□ **ケーブル**
すべてのケーブルが機器間を接続するのに適切な長さであることを確認します。
本製品と端末を接続するケーブルの長さは100m以内にしてください。
また、1000BASE-Tの場合はエンハンスド・カテゴリー5以上のLANケーブル、100BASE-TXの場合はカテゴリー5以上のLANケーブル、10BASE-Tの場合はカテゴリー3以上のLANケーブルを使用してください。

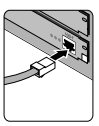


図4　端末の接続

□ **通信モード**
IEEE802.3u規格のオートネゴシエーション機能をサポートしていない機器と本製品を接続する場合は、**必ず接続先の機器の通信モードをHalf duplexに設定してください。**

□ **接続手順**
① 本体前面のネットワークポートにLANケーブルを接続します。
② ネットワークに接続する端末に、LANアダプターが正しく取り付けられていることを確認して、LANケーブルのもう一方を端末のLANアダプターに接続します。
③ 電源ケーブルのソケット側を本体背面の電源コネクターに接続し、プラグ側を電源コンセントに差し込みます。
④ 本体前面のPower LED(緑)が点灯することを確認します。
LANケーブルの接続が正しく行われていれば、接続したポートのLink/Act LED(緑/橙)が点灯します。

スタンドアローン

本製品は単純なスタンドアローンの環境で使用できます。
本製品と端末間のLANケーブルの長さは**100m**以内にしてください。

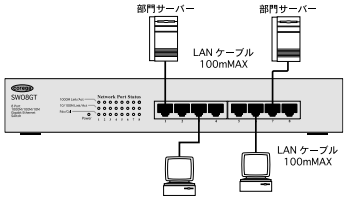


図5　スタンドアローンの接続例

カスケード接続

本製品は、全てのポートでMDI/MDI-X自動設定機能を搭載していますので、ケーブルタイプや接続する機器のポートに関係なく、簡単にカスケード接続することができます。
また、リピーターやハブとは異なり、スイッチのカスケード接続はコリジョンドメインを分割するので、カスケード接続できる数に理論上の制限がありません。そのため、本製品をカスケード用途に合わせ何段でも拡張することができます。

ただし、カスケードの段数は、ネットワーク上で動作しているアプリケーションのタイムアウトによって制限されることがあります。

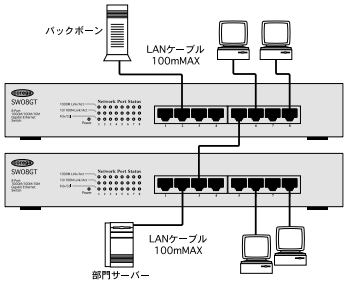


図6　カスケード接続の例

□ **接続手順**
① 本製品の任意のポートにLANケーブルを接続します。

② LANケーブルのもう一方の端を、接続機器のネットワークポートに接続します。

トラブルシューティング

「通信できない」とか「故障かな？」と思われる前に、以下のことを確認してください。

① **Power LEDは点灯していますか？**

Power LEDが点灯していない場合は、電源ケーブルに断線がないか、電源プラグが正しく接続されているか、正しい電源電圧のコンセントを使用しているかなどを確認してください。

② **接続したポートのLink/Act LEDは点灯していますか？**

Link/Act LEDは接続先の機器と正しく接続されている場合に点灯します。点灯しない場合、以下のことを確認してください。

□ 接続先の機器に電源が入っているか確認してください。また、端末に取り付けられているLANアダプターに障害がないか、LANカードに正しくケーブルが接続され、通信可能な状態にあるかなどを確認してください。

□ LANケーブルが正しく接続されているか、正しいLANケーブルを使用しているか、LANケーブルが断線していないかなどを確認してください。また、ケーブルの長さが制限を越えていないかを確認してください。2つのネットワーク機器の直接リンクを形成するLANケーブルは最長100mと規定されています。

□ 接続先の機器の通信モードを確認してください。
本製品のネットワークポートは、オートネゴシエーション機能をサポートしています。
IEEE802.3u規格のオートネゴシエーション機能をサポートしていない製品と本製品を接続する場合は、接続先の機器の通信モードをHalf duplexに設定してください。

□ 特定のポートが故障している可能性もあります。ケーブルを別のポートに差し替えて、正常に動作するか確認してください。

□ LANケーブルに問題はありませんか？ケーブルの不良は外観からは判断しにくいため(結線は良いが特性が悪い場合など)、他のケーブルに交換して試してみてください。

□ リピーター(＝ハブ)の数が制限を越えてないか確認してください。
ファーストイーサネット(100Mbps)の場合、クラスⅡのリピーターは、1つのコリジョンドメイン内で2台までをカスケード接続することができます。その場合、リピーター間のケーブルの長さは5m以内としてください。クラスⅠのリピーターはカスケード接続することができません。
イーサネット(10Mbps)の場合、カスケードできるリピーターの台数は、最大4台までとされています。

推奨ケーブル

LANケーブル
1000BASE-Tの場合はエンハンスド・カテゴリー5以上のLANケーブル、100BASE-TXの場合はカテゴリー5以上のLANケーブル、10BASE-Tの場合はカテゴリー3以上のLANケーブルを使用してください。

※コレガ社製ケーブルをご使用される事をおすすめします。

製品仕様

サポート規格	
	IEEE 802.3/IEEE 802.3u/ IEEE 802.3ab/IEEE 802.3x
電源部	
入力電圧	AC100V(50/60Hz)
最大消費電流	175mA
最大消費電力	18W
環境条件	
動作時温度	0～40℃
動作時湿度	80%以下(ただし、結露なきこと)
保管時温度	−20～60℃
保管時湿度	95%以下(ただし、結露なきこと)
外形寸法 (本体)	
	240(W)×150(D)×38(H) mm
重量	
	1264g
アドレスエントリー数	
	8000個
アドレス保留時間	
	300秒
バッファメモリ	
	2Mbit

保証と修理について

□ **保証について**
別紙に記載されている「製品保証規定」を必ずお読みになり、本製品を正しくご使用ください。無条件で本製品を保証するということではありません。正しい使用方法で使用した場合のみ、保証の対象となります。また、物理的な破損等が見受けられる場合は、保証の対象外となりますので予めご了承ください。本製品の保証期間については、保証書に記載されている保証期間をご覧ください。

□ **修理について**
故障と思われる現象が生じた場合は、まず取扱説明書を参照して、設定や接続が正しく行われているかを確認してください。現象が改善されない場合は、裏面の「お問い合わせ用紙」をコピーしたものに必要事項をご記入の上、保証書および購入日の証明できるもののコピー(レシート等可)を添付し、製品(付属品一式を含む)をご購入された販売店へお持ちください。修理をご依頼する際は、以下の点にご注意ください。
※製品のお持ち込みによる修理は受け付けておりません。

- 修理期間中の代替機等は弊社では用意しておりませんので、予めご了承ください。
- 保証書に販売店の押印がない場合は、保証期間内であっても有償修理になる場合があります。
- 製品購入日の証明ができない場合は、無償修理の対象となりませんのでご注意ください。
- 修理依頼時の故障や事故に関しては、弊社はいかなる責任も負いかねますので、予めご了承ください。
- 修理期間は、製品到着後、約10日程度(弊社営業日数)を予定しております。

PN J613-M7378-00 Rev.D

弊社ホームページのご案内

弊社のホームページでは各種商品の最新情報や製品についてのよくあるお問い合わせなどを提供しています。本製品を最適にご利用いただくために、定期的にご覧いただくことをお勧めします。

● corega のホームページにアクセスしてください！
http://www.corega.co.jp/

製品に関するご質問は・・・

製品のご質問はユーザーサポートまで、右の「お問い合わせ用紙」をコピーしたものに必要事項をご記入の上、下記の番号までFAXしてください。できるだけ電話による直接の問い合わせは避けてください。FAXによって詳細な情報を送付いただくほうが、電話による問い合わせよりも、より早く問題を解決することができます。記入内容の詳細は、「お問い合わせ用紙のご記入のお願い」をご覧ください。

Tel: **045-476-6268**
月～金(祝・祭日を除く)
10:00-12:00、13:00-18:00
Fax: **045-476-6294**
Mail: 下記URLからユーザー登録をした後、お問い合わせください。
http://www.corega.co.jp/faq/
※番号はお間違えのないよう、よくお確かめの上ダイヤルしてください。

お問い合わせ用紙のご記入のお願い

お問い合わせ用紙は、お客様のご使用環境で発生した様々な障害の原因を突き止めるためにご記入いただくものです。障害を解決するためにも、以下の点にそって十分な情報をお知らせください。記入用紙で書ききれない場合には、別途プリントアウトなどを添付してください。

使用しているハードウェアについて

* 製品名、製品のシリアル番号(S/N)、製品リビジョン(Rev)をお問い合わせ用紙に記入してください。製品のシリアル番号、製品リビジョンは、製品の底面に貼付されているシリアル番号シールに記入されています。
（例）

お問い合わせ内容について

* どのような症状が発生するのか、またそれはどのような状況で発生するのかを出来る限り具体的に(再現できるように)記入してください。
* エラーメッセージやエラーコードが表示される場合には、表示されるメッセージ内容のプリントアウトなどを添付してください。

ネットワーク構成について

* ネットワークとの接続状況や、使用されているネットワーク機器がわかる簡単な図を添付してください。
* 他社の製品をご使用の場合は、メーカー名、機種名、バージョンなどをご記入ください。

おことわり

- 本書は、株式会社コレガが作成したもので、全ての権利を弊社が保有しています。弊社に無断で本書の一部または全部をコピーすることを禁じます。
- 予告なく本書の一部または全体を修正、変更することがありますがご了承ください。
- 改良のため製品の仕様を予告なく変更することがありますがご了承ください。
- 本装置の仕様またはそのご使用により発生した損害については、いかなる責任も負いかねますのでご了承ください。

Copyright ©2003 株式会社コレガ

商標

coregaは、株式会社コレガの商標です。
2003年 9月 Rev.A 初版
2004年 1月 Rev.D 第四版

お問い合わせ用紙(corega CG-SWO8GT)

年　月　日

一般事項

1. 会社名(個人名)：
部署名：　　フリガナ：ご担当者：
ご連絡先住所：〒

TEL :(　　)　　FAX :(　　)

2. 購入先：　　購入年月日：
購入先担当者：　　購入先 TEL :(　　)

ハードウェアとネットワーク構成

1. ご使用のハードウェア機種(製品名)、シリアル番号、リビジョン

製品名： corega CG-SWO8GT

S/N_____ Rev___

2. お問い合わせ内容　□別紙あり　□別紙なし
□設置中に起こっている障害　□設置後、運用中に起こっている障害

3. ネットワーク構成図　□別紙あり　□別紙なし
簡単なもので結構ですからご記入をお願いします。

安全のために

必ずお守りください

警告 下記の注意事項を守らないと火災・感電により、死亡や大けがの原因となります。

分解や改造をしない
本製品は、取扱説明書に記載のない分解や改造はしないでください。火災や感電、けがの原因となります。

雷のときはケーブル類・機器類にさわらない
感電の原因となります。

異物は入れない　水は禁物
火災や感電の恐れがあります。水や異物を入れないように注意してください。万一水や異物が入った場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

通風口はふさがない
内部に熱がこもり、火災の原因となります。

湿気やほこりの多いところ 油煙や湯気のあたる場所には置かない
火災や感電の原因となります。

交流 100V の電源でお使いください。
異なる電源電圧で使用すると火災や感電の原因となります。

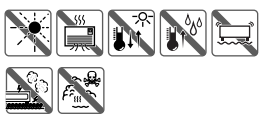
電源ケーブルを傷つけない
火災や感電の原因となります。
電源ケーブルやプラグの取扱上の注意：
- 加工しない、傷つけない。
- 重いものを載せない。
- 暖房器具に近づけない、加熱しない。
- 電源ケーブルをコンセントから抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

コンセントや配線器具の定格を超える使い方はしない
たこ足配線などで定格を超えると発熱による火災の原因となります。

設置・移動のときは電源プラグを抜く
感電の原因となります。

ご使用にあたってのお願い

次のような場所での使用や保管はしないでください
- 直射日光の当たる場所
- 暖房器具の近くなどの高温になる場所
- 急激な温度変化のある場所(結露するような場所)
- 湿気の多い場所や、水などの液体がかかる場所(湿度80%以下の環境でご使用ください)
- 振動の激しい場所
- ほこりの多い場所や、ジュータンを敷いた場所(静電気障害の原因になります)
- 腐食性ガスの発生する場所



取り扱いはていねいに
落としたり、ぶつけたり、強いショックを与えないでください。

静電気注意
本製品は、静電気に敏感な部品を使用しています。部品が静電破壊する恐れがありますので、コネクターの接点部分、ポート、部品などに素手で触れないでください。

お手入れについて

清掃するときは電源を切った状態で
誤動作の原因になります。

機器は、乾いた柔らかい布で拭く
汚れがひどい場合は、柔らかい布に薄めた台所用洗剤(中性)をしみこませ、堅く絞ったもので拭き、乾いた柔らかい布で仕上げてください。

お手入れには次のものは使わないでください
石油・みがき粉・シンナー・ベンジン・ワックス・熱湯・粉せっけん(化学ぞうきんをご使用のときは、その注意書に従ってください)